

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	論理・表現 I	2	論 I 701	東京書籍	NEW FAVORITE English Logic and Expression I

目標 【学習指導要領】	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域(以下この節において「三つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。(1)話すこと[やり取り]ア日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。イ日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。(2)話すこと[発表]ア日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。イ日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。(3)書くことア日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。イ日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<p>ロールプレイやペアワークの活動を通じて、基本的な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどをやり取りする練習をする。</p> <p>基本的な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを論理的に構成し、話す練習をする。クラス内での発表を通じて、自信を持って意見や情報を伝える能力を養う。</p> <p>基本的な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを論理的に構成し、文章を書く練習をする。書く活動を通じて、文章表現力を向上させる。</p>
評価の観点	<p>【知識・技能】[知識]題材内容の表現の形・意味・用法を理解している。 [技能]学んだ知識を用いて、題材内容の表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】場面や相手の状況を理解し適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて題材内容を繰り返し、活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	6月 (11月)	Unit 1 Lesson 1, Lesson 2, lesson 3	褒める、勧める、断る、提案する、依頼する、説明する、紹介する、注意を引く	第1回	スクーリング 6～7月 (10～12月)	褒める、勧める、断る、提案する、依頼する、説明する、紹介する、注意を引く表現について取り組む	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント

